

D14 深層インタラクション

実社会で活動する対話ロボットの実現に向けた実証的取り組み

概要

本研究では、アンドロイドとその3DCGモデルを透過的に制御することができるミドルウェアを開発しました。このミドルウェアを多くのユーザと共有し、実践的に評価を行うコンペティションなどの実証実験を通して、対話ロボットや対話システムの実用化に向けた開発を加速します。

特徴

- アンドロイドを使った対話インタラクションシステムを構築するには、アンドロイドの視線、表情、姿勢制御のすべてを、リアルタイムで環境に合わせ生成する必要があります。本研究では、アンドロイドの対話における動作生成を簡単な指令値で制御できるミドルウェアを開発しました。
- これまでに、対話ロボットコンペティションや、対話システムライブコンペティションで、多くの参加者に対話ロボットや対話エージェントを開発する際に用いられました。
- 本年度は、対話システムライブコンペティションにて、コンペ参加者が本ミドルウェアを用いて開発したマルチモーダル対話システムの評価を行うことを試みます。

今後の展開

- アンドロイドロボット対話システムの標準化

テーマ「万博、そしてその先へ ～科学技術が描く未来～」との関連

- 本研究で開発したミドルウェアをロボットコンペティションなどを通して様々な研究者に使ってもらい、対話ロボットや対話システムの実用化に向けた開発を加速し、それらが日常生活で人と共存し、人を支援する社会の実現を支援します。

